ジョイフル城北
スマイル城北

令和７年度 学校だより
ジョイスマ
令和７年１２月２日
熊本市立城北小学校
校長

「芸術鑑賞会」と「オンラインで国際交流」！

話題を2つ掲載します。まず1つめです。先月になりますが11月に芸術鑑賞会（写真上）を城北小学校で行いました。「転回社」という劇団が来校されました。この劇団は、2015年に元劇団四季に所属していた小松野希海さんをプロデューサーとして迎え、継続的な演劇活動を行うために転回社スタジオを設立し、国府に常設の稽古場兼小劇場を構え、月1回以上の公演を行っているそうです。小松野希海さんは、熊本のテレビやラジオの放送番組に出演されておりご存じの方も多いと思います。今回は「三つの指輪」という演目で、ミュージカルを披露されました。あらすじを簡単に説明すると次のようなお話です。「人のことを信じることができない王様が、いろいろな人との出会いを通して、人のやさしさに触れることで、人のことを信じることができるようになる」というお話です。劇の途中に6年生全員がステージに立ち合唱する場面もありました。本物の迫力のある楽しいミュージカルを見ることができました。

次に2つめです。TSMC の影響でしょうか。今、熊本は台湾との交流が活発です。夏休みは台湾の先生方が城北小に視察に来校されました。そして、10月には5年生が台湾の小学校とオンライン交流会を行いました。さらに今回は、4年生が台湾の小学校とオンライン交流会を行いました。（写真下）

4年生は数名ずつのグループに分かれて、それぞれテーマを決めて、全員が台湾の子どもたちに発表をしました。テーマは、「正月の伝統行事」「うどんとそば」「おでん」「城北小の子どもたちが好きな遊び」「校歌」「鬼滅の刃やワンピースなど、日本のアニメ」など多種多様で、とても楽しい発表交流会でした。台湾の小学校からは、「台湾バナナやそれで作るスイーツ」「タピオカ」など、台湾で有名な果物やスイーツの発表がありました。お互いの教室の画像が映し出されると、手を振り合いほのぼのとした雰囲気での交流会でした。4年生の一人一人が、台湾の子どもたちを意識して、分かりやすい内容で、分かりやすい説明を行っていました。4年生にとって、台湾の子どもたちという相手意識をもち、内容をまとめ、発表した今回の取り組みは、すばらしい経験になったと思います。